

科目名 Subject	ヘアメイクアップ Hairstyling and Make-up		教員名	メイクチーム	
開講年次	2	開講時期	後期	単位	2単位
必修/選択	選択	授業形態	実習	時間	60時間
実践的教育	○				
主な学習効果	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体的行動力	ホスピタリティ・コミュニケーション力
	◎	○	◎	○	○
科目の概要	<p>「メイクアップ基礎」で学んだベーシックな知識を発展させたメイクアップの応用を学ぶ。施術を行う対象者の個性に合わせ、どのような技術を施せば似合うのかを、学生自らが考え実践する。美しくメイクアップを仕上げる技術者の育成のみならず、化粧品の紹介や販売にも必要な知識を学ぶ。また写真撮影、動画撮影、舞台、ファッションショー、婚礼、高齢者へのメイクアップ等、の日常とは異なる現場でのメイクアップ技術・知識も学ぶ。デモンストレーションによる展示または資料写真を参考に相モデルでメイクアップ作品を制作する。</p> <p>ヘアテクニックにおいては、総合的な美しさを捉えるうえで、髪や頭皮に関する知識を理解した上でヘッドスパやヘアスタイルなど美しさをケアしていく幅広い技術が必要とされる。そのために必要となるスカルプトリートメント技術をヘッドスパやマッサージの実践を通して学び、また、ヘアスタイルのアレンジ技術では、バリエーション豊かなスタイルを学んでいく。</p>				
授業の目標	<p>様々な顔立ち、肌色にあわせたメイクアップができるようになる。一つの表現をするのにはさまざまな方法があることを理解し、何種類かの方法の中から学生が主体的に手法を選択し、臨機応変に対応できるようになる。施術される側の顔の立体感、陰影、各パーツの特徴、性格や好み、ライフスタイルを理解し、似合うメイクアップを提供できる知識、技術、経験を習得し、メイクアップを通じて施術を受ける側の満足感を与えられる技術が提供できるようになる。</p> <p>ヘアテクニックでは、ヘッドスパからヘアスタイルのアレンジまで幅広くヘアテクニックを学び、ヘアに関する基礎的な知識を理解し、技術を実践できる。</p>				
時間外学習 (予習・復習)	<p>学生が所有するスマートフォンに教員作成の資料が事前に送られる。各回の授業前にそれらを読み授業の内容、意味を理解しておく。授業終了後には課題が出されることがあるため自宅でデッサンや、スマートフォンで撮影した顔写真を指定された様式に添付し作品課題として提出する。また各回の講義内容を自宅で復習し、次回の授業に向けた準備とする。予習と復習、課題制作、撮影作品制作準備に必要な時間数は合計で約30時間である。</p>				
教科書・教材	教科書	教員作成資料			
	教材	洗顔料、タオル、ティッシュ、コットン、綿棒。			
	使用設備・備品	なし			
	参考文献	なし			
評価方法	<p>作品制作25%、筆記試験25%、小課題25%、平常点25%</p> <p>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</p>				
学生へのフィードバックの方法	定期試験の要点について、掲示にて解説を行います。				
	小課題について個別にコメントを返します。				
履修上の注意	提出課題は作品のデッサンと写真を提出してもらいます。やむを得ず欠席した場合は各自で作品制作を行い提出してください。				
本科目履修と関連する資格	資格名	特になし			

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第1回	立体分析の意味を学ぶ。	顔の立体的な構造を理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第2回	自身の顔の立体を学ぶ。	自身の顔の立体感を正しく理解し面取りができる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第3回	立体分析の個人差を学ぶ。	顔の立体感に個人差があることを理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第4回	他者の顔の立体を学ぶ。	個人差のある顔の立体感に適切なベースメイクアップが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第5回	日常のメイクアップについての注意点を学ぶ。	日常のメイクアップの応用理論を理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第6回	日常のメイクアップについての技術を学ぶ。	日常のメイクアップの応用技術を表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第7回	骨格分析の意味を学ぶ。	頭蓋骨の基本的な構造を理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第8回	自身の顔の骨格を学ぶ。	自身の骨格をメイクアップで表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第9回	老化による顔の変化を学ぶ。	老化による顔の筋肉や肌色の変化を理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第10回	老化による顔の変化をメイクアップで表現する。	顔の形の違いや、美齢学に基づいた年齢による顔の違いを理解しメイクアップ施術で表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第11回	セルフアップの確認 アップスタイルの基礎を学ぶ	ヘア道具の扱い方、施術者としての身だしなみ、ヘアの扱い方を理解し技術を提供できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第12回	ヘアアレンジを学ぶ① ホットカーラー/アイロン/ブロードライテクニック	ヘアスタイルを仕上げるうえでのオリジナルセットの技術を理解し、表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第13回	ヘアアレンジを学ぶ② ブレイドI	ヘアスタイルを仕上げるための基礎的なブレイドテクニックが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第14回	ヘアアレンジを学ぶ④ ヘアゴムテクニックI	ヘアゴムを使用したアレンジスタイルが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第15回	ヘアケア技術を学ぶ① 指圧マッサージ	毛髪の基礎知識ならびにスキャルプ・指圧マッサージ技術が実践できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。

授業計画			
	授業内容	到達目標	予習・復習・備考
第16回	ヘアケアを学ぶ② シャンプー技術	バックシャンプー技術を理解し、実践できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第17回	ヘアケアを学ぶ③ ヘッドスパⅠ	ヘッドスパ技術における頭皮ケアを重点的に理解し、実践できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第18回	ヘアケアを学ぶ④ ヘッドスパⅡ	ヘッドスパ技術におけるトリートメントを重点的に理解し、実践できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第19回	ヘアアレンジを学ぶ⑤ アップⅠ（夜会巻）	夜会巻のヘアスタイルが実践できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第20回	ヘアアレンジを学ぶ⑥ アレンジスタイルの応用	これまで習得した技術を複数使用したヘアアレンジを行うことで、オリジナルのスタイルが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第21回	洋装のブライダルシーンの知識を学ぶ。	ブライダルの現場で求められる知識や振る舞いを理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第22回	洋装のブライダルメイクアップの技術を学ぶ。	洋装のブライダルメイクアップが表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第23回	肌色によるメイクアップ応用の知識を学ぶ。	肌の色になぜ違いが生まれるか理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第24回	肌色によるメイクアップ応用の技術を学ぶ。	肌の色によって提供する技術を変える事ができる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第25回	海外の秋冬メイクアップトレンドを学ぶ。	パリ、ロンドン、NY等のメイクアップトレンドが理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第26回	海外のファッションショーでトレンドになった秋冬メイクアップスタイルを模写する。	海外でのファッションショーに必要な技術が表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第27回	写真撮影のメイクアップに関する知識を学ぶ。	スタジオでの写真撮影に必要な知識が理解し説明できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。
第28回	写真撮影のメイクアップに関する技術を学ぶ。	スタジオでの写真撮影に求められる技術を表現できる。	事前にスマートフォンに送られた資料による予習。終了後講義内容を自宅で復習。授業内で撮影した写真を課題として提出。
第29回	作品制作のリハーサルを行う。	作品制作に向けチーム内で意見を出し合い、メイクアップに反映する事ができる。	チーム内で作品の方向性を話し合い、共同作業が円滑に進むよう調整する。
第30回	作品コンセプトの発表を行う。	チームごとに作品のコンセプトを発表できる。	作品制作本番に向け最終調整を行う。